

ビジネスマネージャーとは

LINEヤフー株式会社

2026/08

LINEヤフー

目次

1. ビジネスマネージャーとは	P3～
2. 基本情報	P8～
3. 提供機能	P14～
4. エージェンシー向けビジネスマネージャー	P21～
5. よくある質問	P24～

ビジネスマネージャーとは

ビジネスマネージャーとは

企業の情報や、企業に紐づくサービスアカウントの情報を管理・集約いただくための情報基盤です。

LINEやフーの様々なサービスをご利用いただく際に、企業単位で管理・集約・可視化が可能になり、管理工数の削減やデータをサービス横断で分析・活用できるようになります。

1箇所でまとめて管理可能になり
管理工数削減！

一元管理

- ・ 企業情報
- ・ 所有のアカウント情報
- ・ 権限管理
- ・ お支払い情報
- ・ 商品情報
- ・ クリエイティブ

今後対応予定

今後対応予定

今後対応予定

データを横断的に分析・活用できるようになり
ユーザーへ最適なサービス提供が可能に！

データ集約・活用

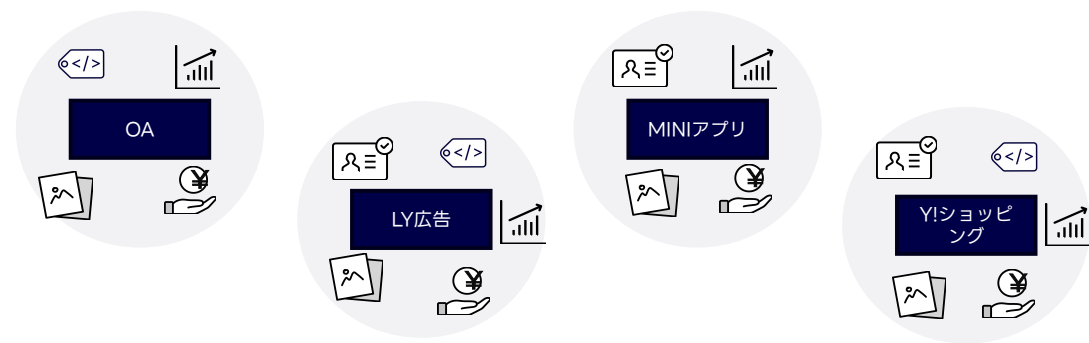
- ・ タグの発行・管理
- ・ データ蓄積
- ・ 活用
- ・ 可視化

ビジネスマネージャーを利用すると

ご利用前

各サービスにそれぞれ企業情報やお支払い情報を登録する必要がありました。またデータもそれぞれのサービスのタグを利用し蓄積するなど同じ企業であっても情報が分断してしまっていました。

- ・ 同じ企業なのに横断でのデータ活用や可視化が難しい…
- ・ 同じ情報をそれぞれのアカウントで管理して工数がかかっている…

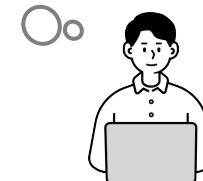


※イラストはイメージで実際の提供内容とは異なります。

ご利用後

企業情報をまとめてビジネスマネージャーで一元管理できるので、重複管理が不要になります。また各サービスアカウントのデータも集約し横断で活用可能に！

- ・ 企業情報をまとめて管理できるので、各サービスに都度設定する作業が不要となり工数削減！
- ・ データを横断して利用できる所以活用範囲が広がった！

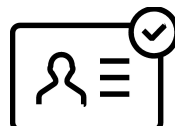


具体例

管理工数削減

1

企業情報の横断活用



今後対応予定

ビジネスマネージャーの審査で承認された企業情報をLINEヤフーの各サービスで利用可能になります。

✓ 重複した企業審査が不要になりスムーズな利用が可能に

管理工数削減

2

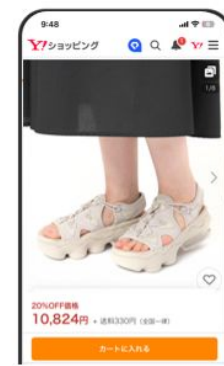
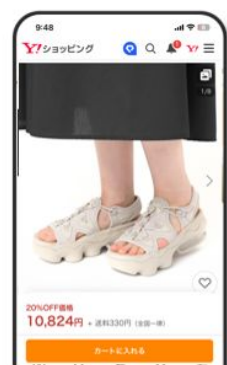
重複情報の一元管理



今後対応予定

お支払い情報・商品情報・クリエイティブ情報などを企業単位で管理可能になります。

✓ 横断的な利用により管理工数の削減が可能に

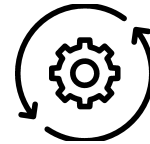


具体例

横断活用

3

データの蓄積・活用



ビジネスマネージャーに紐づいたLINEやフーのさまざまなサービスアカウント横断でのデータの蓄積・計測・活用が可能になります。

✓ ユーザーへより最適なサービス提供が可能に

横断活用

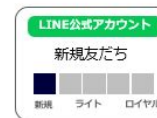
4

可視化



サービスアカウントのデータやLINEやフーのメディアデータを用いて、マーケットや消費者などのマーケティングデータが可視化可能になります。

✓ LINEやフー内のユーザーアクションを「まとめて見える化」



+



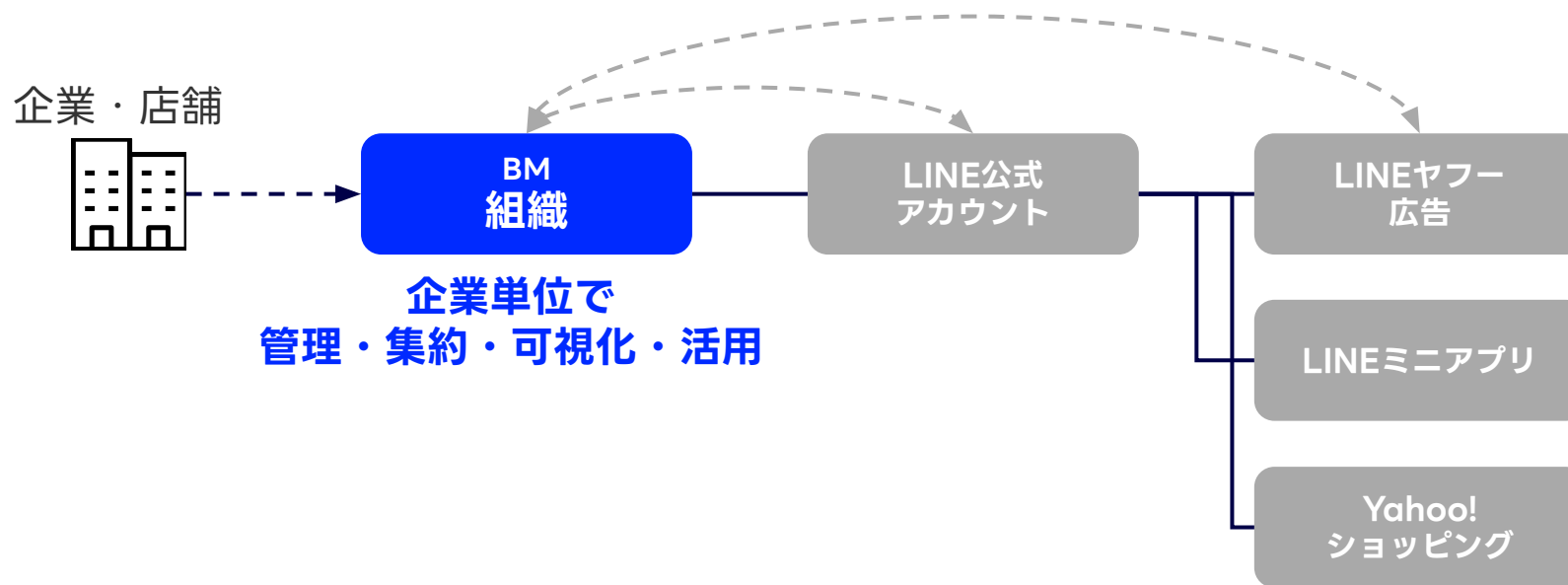
▶ 「[ConnectOne](#)」の詳細はこちら

ビジネスマネージャーの 基本情報

ビジネスマネージャーの組織とは

ビジネスマネージャー（以降「BM」と記載）の「組織」とは、**企業情報や権限管理・運用の起点となるBMのアカウント**です。

作成した組織に、同一企業内のLINEヤフーサービスアカウント（LINE公式アカウント/LINEヤフー広告アカウントなど）を紐づけていただくことで、**企業情報の一元管理やデータの集約・活用が可能**になります。



POINT

企業・店舗において1つのBM組織で運営いただくことを推奨しています。

▶ [「組織」の詳細はこちら](#)

ビジネスマネージャーでできること

BMでは2026年8月現在、下記の管理や機能がご利用がいただけます。

		概要	補足
アカウント管理		組織に紐づくアカウントの情報・接続ステータスの確認	「未認証ステータス※」でもご利用可能
リソース共有		オーディエンスやタグデータなどの共有管理	「認証済みステータス※」になるとご利用可能
データ	トラッキング (タグ)	- 計測タグの発行・管理 - LINE tagの発行・管理	「認証済みステータス※」になるとご利用可能
	オーディエンス	オーディエンスの作成	
	インサイト	インサイト機能	
設定	組織	組織の設定を編集	「未認証ステータス※」でもご利用可能
	ビジネス情報	企業情報の登録・編集	

※認証ステータスについては次ページの説明をご確認ください。

「認証済み」ステータスとは

組織には「**認証済みステータス**」と「**未認証ステータス**」があります。
前ページに記載の通り、「**認証済みステータス**」に**していただくことで、さまざまな機能がご利用いただけますので、ぜひ、下記ご参照の上お手続きください。**

認証審査の流れ

1 組織認証審査の申請

- (1) 書類による審査
指定の書類をアップロードいただくことで、書類に基づいた審査を実施します。
 - (2) ビジネス情報を基にした審査
組織作成時に入力したビジネス情報を基に審査を実施します。
- ※「法人」の場合は：上記の(1) (2)のいずれかより選択可能です。「個人事業主」の場合は(1)の「書類による審査」が必須となります。（指定の書類や手順の詳細につきましては、右下の「認証審査」の詳細をご参照ください。）

2 認証審査の実施

- 組織の認証審査(組織を所有する法人/個人事業主の存在を確認)として、以下の点を確認します。
- ・ ビジスマネージャーに組織を作成した法人および個人事業主が存在するか
 - ・ その法人に所属する従業員が組織の管理者であるか

認証審査を開始する条件

- 以下の条件を満たすと、ビジスマネージャーの組織の審査が自動で開始されます。
1. 組織のビジネス情報が全て入力されている
 2. 組織のメール認証が済んでいる
 3. 組織に接続したアカウントが1つ以上ある組織認証審査申請が完了している（地域が「日本」の場合のみ）

3 審査状況の確認

▶ [「認証審査」の詳細はこちら](#)

権限

POINT

BMをご利用いただくにはBM用の権限が必要です。

BMの権限と各サービスの権限は異なります。

BMの権限を所有していても、各サービスアカウントへのログインはできません。各サービスご利用時には別途それぞれの権限をお持ちのビジネスIDに付与しご利用ください。

役割	利用できる機能
管理者	組織の削除、組織名の変更、ユーザーの管理(招待や削除)、各種アカウントの接続承認、リソース(オーディエンスやタグ)の共有管理、各種設定など、全ての機能が利用できます。
運用者	リソース(オーディエンスやタグ)を共有管理できます。また、ビジネスマネージャー上でのオーディエンスやタグの作成、管理が可能です。
運用者(データのみ)	ビジネスマネージャー上でのオーディエンスやタグの作成、管理が可能です。アカウントの接続や接続中のアカウントの一覧は閲覧できません。
利用者(閲覧のみ)	組織や接続中のアカウントおよびリソースについて、一覧の閲覧が可能です。

▶「[権限](#)」の詳細はこちら

アカウント接続

現在、BM組織に接続可能なサービスアカウントは下記となります。接続いただくことで、サービスを横断したタグの利用やインサイト・オーディエンスの共有などの機能がご利用可能になります。

		接続可否
LINE公式アカウント		○
LINEヤフー 広告	ディスプレイ広告	○
	検索広告	○
	検索連動型 ショッピング広告	○
LINE広告		○
LINEミニアプリ		○

Yahoo!ショッピングも今後接続予定です（時期未定）

接続手順

※主体者が同一の場合のみ接続可能です。

各サービスアカウントの管理画面より下記手順で接続ください。

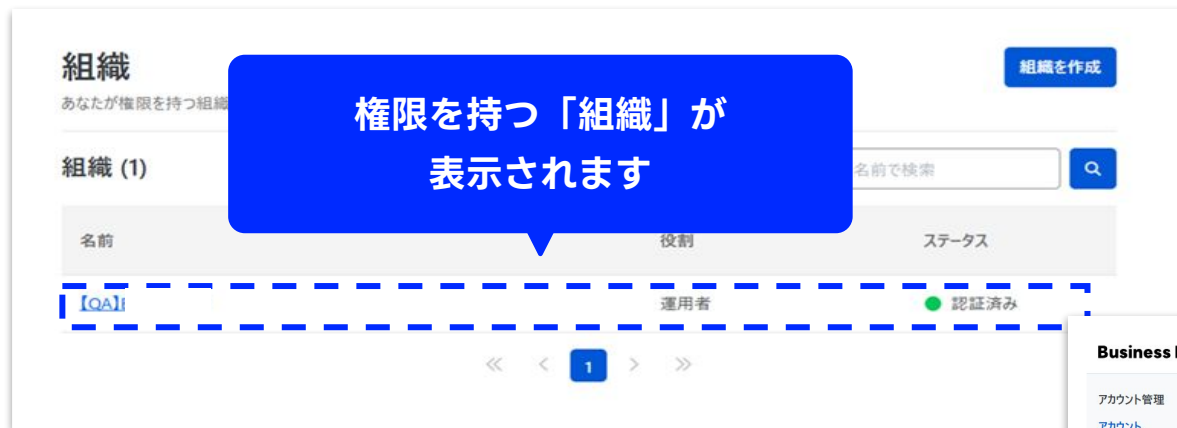
1. BM接続URL発行（各サービスアカウントの管理者権限所有者のみ実施可能）
2. BMの管理者へ送付
3. BMの管理者が承認（申請者自身がBMの管理権限を持っている場合承認作業は不要）

▶「[アカウント接続](#)」の詳細はこちら

ビジネスマネージャーの 提供機能

管理画面

BM管理画面（[URL](#)）にログインいただくと、ログイン者が権限を持つ「組織」が表示されますので、該当組織を押下し詳細ご確認ください。



リソース共有

リソース共有とは、組織に接続したサービスアカウント間でのオーディエンスやタグ情報の共有になります。

▶「[リソース共有](#)」の詳細はこちら

オーディエンス

オーディエンスとは、広告などの配信を効率よく行うためのターゲティング設定の1つです。
サイト訪問者やアプリ内アクションデータ、お持ちのカスタマーデータを活用し作成することができます。

作成できるオーディエンスの種類		補足
ウェブトラフィックオーディエンス	LINE Tagのトラッキング情報を基に、サイト訪問ユーザーのオーディエンスを作成できます。また、サイト内購入などのイベントに基づいたオーディエンスを作成することもできます。	計測タグのウェブトラフィックオーディエンスはLINE公式アカウント・LINEヤフー広告の管理画面から作成してください。 共有先はLINE公式アカウント・LINE広告のみとなります。LINEヤフー広告でご利用の場合はLINEヤフー広告の管理画面より作成ください。
IDFA/AAIDアップロード	保有しているIDFA/AAIDデータを用いてオーディエンスを作成できます。	
電話番号アップロード	保有している電話番号データを用いてオーディエンスを作成できます。	
メールアドレスアップロード	保有しているメールアドレスを用いてオーディエンスを作成できます。	

※BMを介してLINE公式アカウント・LINE広告とLINE公式アカウント・LINE広告間でのオーディエンスの共有は可能です。

▶「[オーディエンス](#)」の詳細はこちら

トラッキング（タグ）

現在BMでは下記2種類のタグの発行・管理が可能で、それぞれのタグで利用可能なサービスは下記となります。
新たにタグを発行される場合には、計測タグのご利用をお勧めしております。

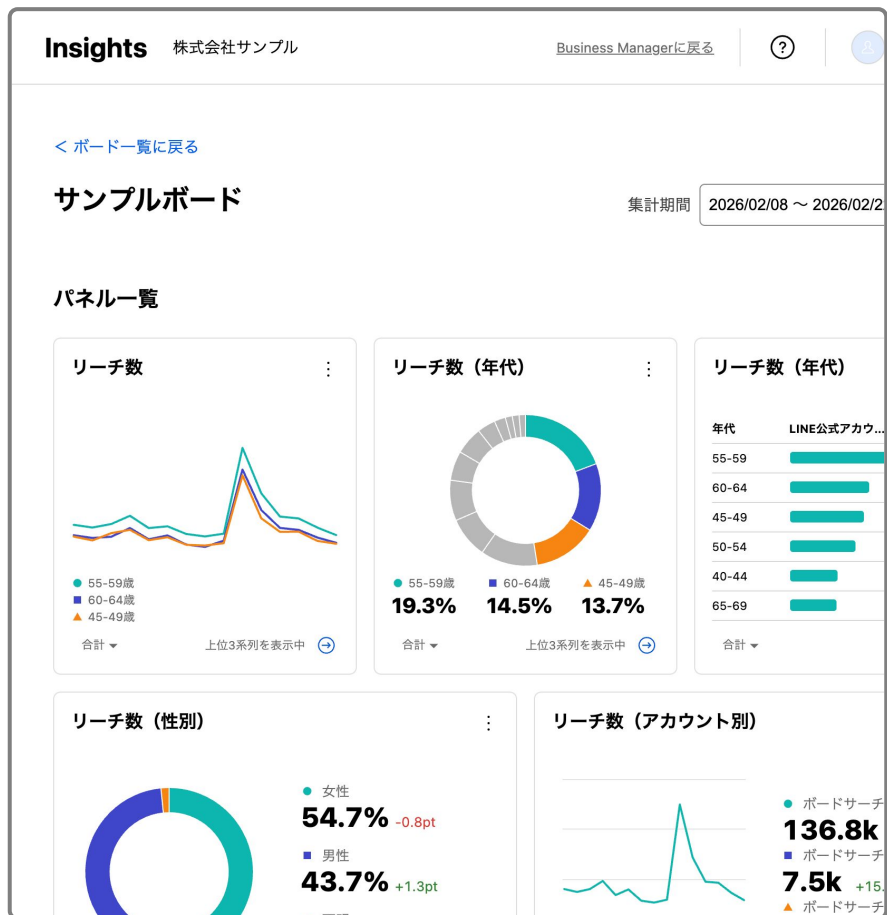
※LINE Tagは、日本においては将来的に提供終了を予定しています。ご利用のお客様は、お早めに「計測タグ」のご利用をご検討ください。

		計測タグ LINEヤフーのさまざまなサービスで 横断的に活用可能な統合タグ	LINE Tag※ LINEサービス活用可能なタグ
LINE公式アカウント		○	○
LINEヤフー 広告	ディスプレイ広告	○	×
	検索広告	2026年秋頃ご提供予定	×
	検索連動型 ショッピング広告	○ ※2026年8月上旬時点では オーディエンスリストターゲティングのみご提供 (コンバージョン計測は 2026年8月26日リリース予定)	×
LINE広告		×	○
LINEミニアプリ		未定	×

▶「[計測タグ](#)」の詳細はこちら

データ（インサイト）

組織に接続したサービスアカウントの横断データ可視化機能で、現在利用可能なサービスは下記となります。



		横断可視化
LINE公式アカウント		○
LINEヤフー 広告	ディスプレイ広告	○
	検索広告	今後ご提供予定 (時期未定)
	検索連動型 ショッピング広告	今後ご提供予定 (時期未定)
LINE広告		×
LINEミニアプリ		今後ご提供予定 (時期未定)

▶ [「インサイト機能」の詳細はこちら](#)

今後の予定

カタログ情報

※2026年度提供予定



現在、検索連動型ショッピング広告・ディスプレイ広告・Yahoo!ショッピングなどにおいて、それぞれ商品データを管理・活用していただいておりますが、今後はBMで一元管理し企業内で横断して利用できる機能をご提供予定です。

お支払い情報

※2026年度提供予定



現在、それぞれのサービスアカウントで管理しているお支払い情報を今後はBMで一元管理し企業内で横断して利用できる機能をご提供予定です。

クリエイティブ情報

※提供時期未定



現在、それぞれのサービスアカウントで管理しているクリエイティブ情報を、今後はBMで一元管理し企業内で横断して利用できる機能をご提供予定です。

まとめ

2026年8月時点で、BM組織と接続することで、横断的にご利用可能な機能は下記となります。

		タグ		BM作成の オーディエンス 共有先	インサイト 機能
		計測タグ	LINE tag		
LINE公式アカウント		○	○	○	○
LINE ヤフー 広告	ディスプレイ広告	○	×	今後ご提供予定 (時期未定) ※	○
	検索広告	2026年秋頃ご提供予定	×	今後ご提供予定 (時期未定)	今後ご提供予定 (時期未定)
	検索連動型 ショッピング広告	○ ※2026年8月上旬時点では オーディエンスリスト ターゲティングのみご提供 (コンバージョン計測は 2026年8月26日リリース予定)	×	今後ご提供予定 (時期未定)	今後ご提供予定 (時期未定)
LINE広告		×	○	○	×
LINEミニアプリ		未定	×	未定	今後ご提供予定 (時期未定)

※BMを介してLINE公式アカウント・LINE広告とLINEヤフー広告（ディスプレイ広告）間でのオーディエンスの共有は可能です。

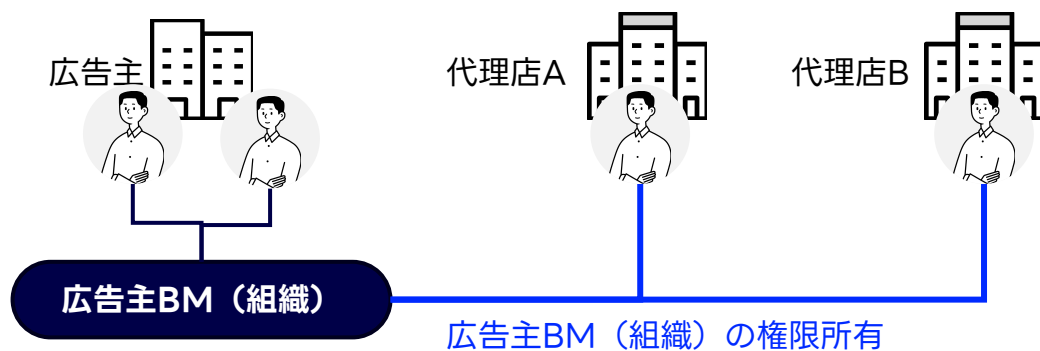
エージェンシー向け ビジネスマネージャー

エージェンシー向けビジネスマネージャーとは

エージェンシー向けビジネスマネージャー（以降：代理店BMと記載）は、「**広告主の保有する個人情報等の保護**」と「**代理店側への権限付与**」を**安全に両立させる権限管理機能**です。直接広告主のビジネスマネージャー（以降：広告主BMと記載）の権限を代理店側に付与しご利用いただいていた構造から、必要な範囲ごとに権限を分離して、委譲・付与された権限の範囲内で、広告主BMの代理操作が可能になります。

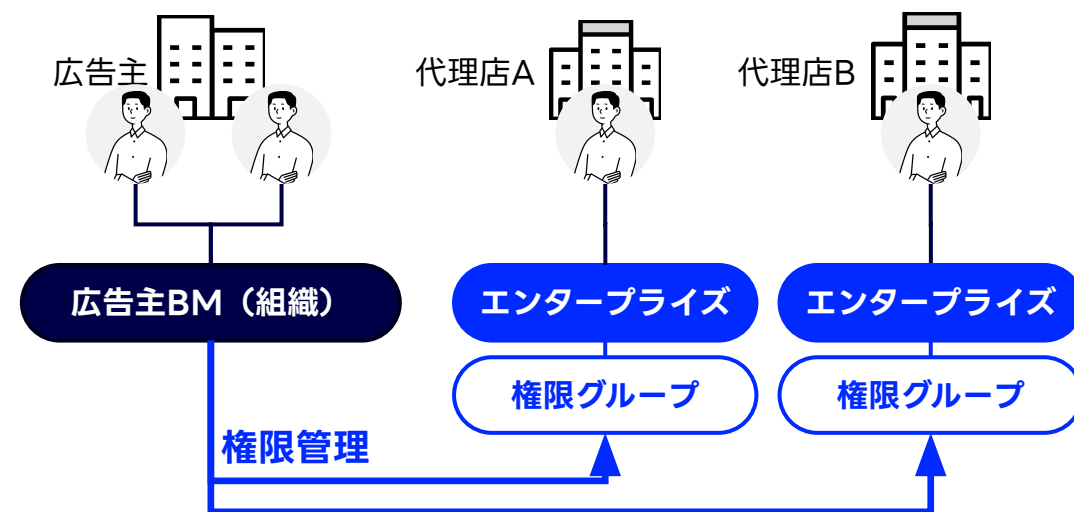
直接権限を付与されていたケース

広告主ユーザーが、代理店ユーザーに**直接権限を付与**



代理店BMご利用のケース

広告主は組織やアカウントにある個人情報等を保護しつつ代理店側へ必要な範囲ごとに権限を分離して委譲・付与



▶「代理店向けBM」の詳細はこちら

エージェンシー向けビジネスマネージャーとは

直接広告主BMの権限を代理店側に付与していた構造から、必要な範囲ごとに権限を分離して委譲する方式へ変更され付与された権限の範囲内で、広告主BMの代理操作が可能になります。

	広告主BM(組織)の 開設	アカウント接続	オーディエンス共有	分析・レポート	統合タグの発行
広告主BM (組織)	○	○	○	○ ※ビジネスマネージャー インサイト機能利用で可能	○
代理店BM	○ ※広告主様との合意を前提 とした代理開設が可能	○ ※接続の承認は可能	○ ※広告主BM（組織）が認 証済み、かつ付与された 権限の範囲内で可能	× ※今後対応予定	× ※今後対応予定

付与された権限の範囲内で、広告主BMの**代理操作**が可能になります。

なお、今後、代理店BMからも計測タグの発行・管理が可能になるなど、利用機能を順次拡充していく予定です。
(詳細は決まり次第ご連絡させていただきます。)

よくある質問

1 企業で複数の組織は作成可能ですか？

管理工数やデータ集約の観点より、企業・店舗において1つのBM組織で運営いただくことを推奨いたします。
(※どうしても集約が難しい場合には複数BMで運用いただくことも可能です。)

海外企業はBM組織を作成できないですか？

2026年7月より作成可能になりましたので、ぜひご利用ください。

提供対象国は、LINE 公式アカウント・連動アプリで登録が確認できている所在国のうち、日本を除く43カ国となります。

詳細は右記をご確認ください。 対象国記載ページ：https://privacy.lycorp.co.jp/ja/connection/country_or_region_list.html

同じ企業で複数のBM組織がすでに作成されている場合、どうすればいいですか？

サービスアカウント接続は、一つの組織へ集約してください。

BM組織とサービスアカウントの接続し直しは可能ですか？

はい、基本的には紐づけ先組織の変更は可能です。

既に接続済みアカウントの紐づけ先BM組織を変更し、1つのBM組織に集約していただくことを推奨いたします。(※LINE レストランプラス・LINEビューティープラス・CRMオプションご利用の場合には接続変更ができませんので、ご注意ください。)



LINEヤフー